



北斗句会

四月定例会（メール句会） 兼題「鳥」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

たのもしや土管の中の巣立鳥 大崎石州

春愁や硝子に映る八十翁 太田黒幸風

鳥帰る夕陽に比島烈士の碑 大森康政

有らなくに花と見紛ふ春の雪 竹内雲泉

暖かや蹴る子駆ける子弾ける子 田中資凡

菜の花や天心目指す飛行雲 長池豆陽

咲き誇る桜並木を独り占め 深見十万

天帝の文たづさへて落雲雀 藤田紀潮

梅の香も利けず観るのみ八十路かな 宮下ひかる

木曾駒の群れて草食む雪間かな 森田光彦

陽光を返す水面や鳥帰る 山縣秀雄

梅一輪勇の墓を守りけり 吉岡誠山



蛇穴を出で好き者に尾行さる 石田きよし